

---

小日向台町町会主催  
環境ワークショップ・小日向のまちづくりを考える  
第5回 令和5（2023）年 7月 2日

---

周知方法：町会掲示板のポスター、および町会Facebookで  
内 容：第4回ワークショップまとめとA B C 案から

## 何が大切か

### 住民が大切

- ・ 50年100年住んでいる
- ・ 住んでいる人が大切
- ・ 住民、卒業生
- ・ 50年後を小学生に聞く

### 小学校建替問題を大切に

- ・ 新築でもよい
- ・ 学校のあり方
- ・ 大切
- ・ 現状校庭
- ・ 小学校100年
- ・ 高さをなく、屋上を校庭
- ・ しいの木
- ・ 財務省利用

### 町会の将来

- ・ 町会の中で初めての開発
- ・ 50年後、2070年
- ・ 住民の目線で

### 署名運動

- ・ 署名運動
- ・ お茶大では、署名運動でマンション化をやめられた。

### 考え方の整理

- ・ メリット、デメリット
- ・ もう少しメリット

## 現実には厳しいのでは

### 区との協議

- ・区との対応
- ・区に要望
- ・区の反応
- ・区を変える
- ・グラウンドはバスで
- ・厳しい

### まちづくりコンサル

- ・まちづくりコンサルの派遣
- ・活用の検討

### まとまらないと

- ・建替えの期間の課題に対して運動
- ・もっとまとまっているなら
- ・ごちゃごちゃしている

### 小学校建替公募

- ・これから忙しい
- ・財務省跡地現実には厳しい
- ・現状案でいく
- ・湯島の小学校
- ・改修が大切 小学校
- ・仮校舎工夫 財務省と協議
- ・文科省整合性

### 財務省跡地公募

- ・7月公募決定
- ・仮校舎の要望出していく
- ・仮校舎転用の規定を記載することはできないのか

## エリアコンセプトが大切

- ・エリア全体
- ・トータルで開発
- ・リノベはよい
- ・まちの合意
- ・新しい建築ではない
- ・公共の条件

- ・育むために何が必要か
- ・子供が思いきり体を動かせる
- ・子供に必要な環境

- ・小学校改修
- ・改修を本格的に考えることができないか

- ・校庭に校舎は一般的
- ・校庭に光が当たらない
- ・しいの木がなくなるのは反対
- ・OB.OG桜の移築

- ・財務省と小学校、大きさが似ている
- ・財務省跡地に仮校舎
- ・新校舎はそのまま
- ・小学校特養同時オープン
- ・小学校工期短縮

- ・財務省跡地に公園
- ・公園は大切

## 第5回目

7月2日（日）14:00から16:00

大塚地域活動センター 多目的室B

参加者；11名（リモート会議は設定せず）

挨拶：小日向台町町会長 酒井美津子

環境委員長 小林秀一

資料説明：小日向台町支部長 都市計画家 西郷真理子

ワークショップ：全員参加

